



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長

(氏名) 岸本 一人

TEL 0569-72-1231

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	21,238	4.7	1,393	37.3	1,481	32.3	990	1.4
2020年3月期	20,285	4.6	1,015	12.6	1,119	12.4	976	4.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	142.58		4.9	6.3	6.6
2020年3月期	140.55		5.0	4.9	5.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	23,853	20,490	85.9	2,949.07
2020年3月期	22,849	19,726	86.3	2,839.01

(参考) 自己資本 2021年3月期 20,490百万円 2020年3月期 19,726百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,025	239	277	8,395
2020年3月期	1,406	1,302	277	6,887

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		20.00		20.00	40.00	277	28.5	1.4
2021年3月期		20.00		20.00	40.00	277	28.1	1.4
2022年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		28.4	

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	2.9	650	7.8	700	8.6	490	2.4	70.52
通期	15,000	2.3	1,300	6.7	1,400	5.5	980	1.1	141.04

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	8,832,311 株	2020年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,884,087 株	2020年3月期	1,883,966 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,948,328 株	2020年3月期	6,948,402 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
2021年3月期決算参考資料 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、すべてにおいて新型コロナウイルスに翻弄された1年であり、国内的・世界的にもワクチン接種が始まり、新型コロナウイルス感染拡大の沈静化が期待されるものの、変異株の発生により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇、労働環境の変化等が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業の強化とともに、既存設備の活用を重点に合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当事業年度の経営成績は、売上高は21,238百万円と前年同期と比べ952百万円(4.7%)の増収となり、営業利益は1,393百万円と前年同期と比べ378百万円(37.3%)、経常利益は1,481百万円と前年同期と比べ361百万円(32.3%)、当期純利益は990百万円と前年同期と比べ14百万円(1.4%)の増益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、液体スープの売上が順調に伸び、売上高は4,162百万円と前年同期と比べ300百万円(7.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は328百万円と前年同期と比べ36百万円(12.5%)の増益となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が順調に伸び、売上高は4,418百万円と前年同期と比べ184百万円(4.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は80百万円(前年同期は7百万円のセグメント損失(営業損失))となりました。

チルド食品部門は、受託が順調に推移し、売上高は2,942百万円と前年同期と比べ356百万円(13.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は454百万円と前年同期と比べ123百万円(37.5%)の増益となりました。

即席麺部門は、袋麺の受託が増加し、売上高は8,696百万円と前年同期と比べ58百万円(0.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は513百万円と前年同期と比べ120百万円(30.6%)の増益となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加したことに伴い、売上高は1,018百万円と前年同期と比べ52百万円(5.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は16百万円と前年同期と比べ9百万円(126.6%)の増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産の部は23,853百万円となり、前事業年度末と比べ1,003百万円増加しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が1,508百万円増加し、固定資産において機械及び装置が305百万円、建物が134百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,362百万円となり、前事業年度末と比べ238百万円増加しました。これは主に、流動負債において未払消費税等が117百万円、固定負債において退職給付引当金が90百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は20,490百万円となり、前事業年度末と比べ764百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が712百万円、その他有価証券評価差額金が51百万円増加したことによるものであります。

この結果、当事業年度末の自己資本比率は85.9%(前事業年度末は86.3%)、1株当たり純資産は2,949円07銭(前事業年度末は2,839円01銭)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は8,395百万円となり、前年同期と比べ1,508百万円(21.9%)の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により得られた資金は2,025百万円となり、前年同期と比べ618百万円(44.0%)の増加となりました。主な要因は、税引前当期純利益1,426百万円及び減価償却費639百万円による資金の増加と法人税等の支払額443百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は239百万円となり、前年同期と比べ1,062百万円(81.6%)の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出196百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は277百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.0%)の減少となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延の長期化に伴う政治・経済への影響が計り知れない状況の中で、人手不足による人件費・物流費の上昇や原材料費の不透明な先行き等、経営環境は依然として厳しい状況で推移することが予想されます。

食品業界におきましても、原材料コストの上昇圧力が強い一方、低価格志向・節約志向に伴う価格競争の激化による厳しい経営環境が継続されるものと予想されます。また、人口減少と高齢化の進展、食への安心・安全に対する意識の高まりなど大きな変化が起こっております。

このような状況の中で当社は、品質第一の姿勢を貫き、安心・安全な製品を提供することを基本として品質管理を徹底するとともに、生産面におきましては、人材育成の充実とローコストオペレーション体制を実現できるよう創意工夫し、収益基盤の強化を図ってまいります。

また、既存設備の有効活用を推し進めていくとともに、新たな事業にも積極的に挑戦して収益力を強化してまいります。

さらに、企業活動における社会的責任の重さを充分認識し、環境保全活動への取り組み、コンプライアンス体制の強化等を推進し、お客様に信頼される企業を目指し、積極的に事業を展開し、社業の発展を図る所存であります。

なお、通期の業績予想につきましては、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用予定であり、当該基準等の適用により売上高は減少しておりますが、営業利益、経常利益及び当期純利益については、当該基準等の適用による影響は軽微であり、売上高15,000百万円(前期比2.3%減)、営業利益1,300百万円(前期比6.7%減)、経常利益1,400百万円(前期比5.5%減)、当期純利益980百万円(前期比1.1%減)を目標としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,111	8,619
売掛金	2,222	2,100
商品及び製品	414	494
仕掛品	39	29
原材料及び貯蔵品	253	264
前払費用	3	3
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	134	11
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	15,671	17,016
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,326	6,266
減価償却累計額	△3,925	△3,999
建物(純額)	2,401	2,266
構築物	553	557
減価償却累計額	△404	△415
構築物(純額)	149	141
機械及び装置	10,968	10,324
減価償却累計額	△9,132	△8,794
機械及び装置(純額)	1,835	1,530
車両運搬具	74	63
減価償却累計額	△74	△62
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	707	688
減価償却累計額	△618	△625
工具、器具及び備品(純額)	88	62
土地	869	869
リース資産	-	6
減価償却累計額	-	△0
リース資産(純額)	-	5
建設仮勘定	1	6
有形固定資産合計	5,345	4,883
無形固定資産		
ソフトウェア	5	12
その他	2	2
無形固定資産合計	8	15

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,501	1,575
関係会社株式	32	32
出資金	0	0
長期前払費用	9	52
前払年金費用	26	19
繰延税金資産	213	217
入会金	14	14
その他	24	24
投資その他の資産合計	1,823	1,937
固定資産合計	7,177	6,836
資産合計	22,849	23,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,406	1,382
リース債務	-	1
未払金	48	41
未払費用	360	381
未払法人税等	254	271
未払消費税等	-	117
預り金	6	11
賞与引当金	191	195
役員賞与引当金	8	17
流動負債合計	2,277	2,419
固定負債		
リース債務	-	4
退職給付引当金	834	924
役員退職慰労引当金	11	13
固定負債合計	846	942
負債合計	3,123	3,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金		
資本準備金	1,160	1,160
資本剰余金合計	1,160	1,160
利益剰余金		
利益準備金	167	167
その他利益剰余金		
別途積立金	12,220	12,220
繰越利益剰余金	8,073	8,786
利益剰余金合計	20,460	21,173
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	19,324	20,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	401	453
評価・換算差額等合計	401	453
純資産合計	19,726	20,490
負債純資産合計	22,849	23,853

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	19,319	20,220
商品売上高	965	1,018
売上高合計	20,285	21,238
<b>売上原価</b>		
商品期首たな卸高	0	1
製品期首たな卸高	414	413
当期商品仕入高	904	971
当期製品製造原価	17,335	17,941
合計	18,655	19,327
他勘定振替高	10	7
商品期末たな卸高	1	1
製品期末たな卸高	413	493
売上原価合計	18,230	18,826
<b>売上総利益</b>	<b>2,055</b>	<b>2,411</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
運送費及び保管費	327	312
販売促進費	125	79
貸倒引当金繰入額	0	—
役員報酬	57	64
給料	165	178
賞与	53	72
賞与引当金繰入額	28	25
役員賞与引当金繰入額	8	17
退職給付費用	33	33
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
減価償却費	6	6
その他	230	225
販売費及び一般管理費合計	1,039	1,017
<b>営業利益</b>	<b>1,015</b>	<b>1,393</b>

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業外収益</b>		
受取利息	25	25
受取配当金	51	46
不動産賃貸料	9	9
雑収入	22	22
営業外収益合計	108	103
<b>営業外費用</b>		
賃貸費用	4	4
たな卸資産廃棄損	—	11
雑支出	0	0
営業外費用合計	4	15
経常利益	1,119	1,481
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	355	—
特別利益合計	355	1
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	64	23
固定資産撤去費用	10	32
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	76	56
税引前当期純利益	1,398	1,426
法人税、住民税及び事業税	467	461
法人税等調整額	△44	△25
法人税等合計	422	435
当期純利益	976	990

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他別途積立金	利益剰余金繰越利益剰余金						利益剰余金合計
当期首残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	7,374	19,761	△3,456	18,626	608	608	19,234
当期変動額												
剰余金の配当						△277	△277		△277			△277
当期純利益						976	976		976			976
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△206	△206	△206
当期変動額合計	-	-	-	-	-	698	698	△0	698	△206	△206	491
当期末残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	8,073	20,460	△3,457	19,324	401	401	19,726

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他別途積立金	利益剰余金繰越利益剰余金						利益剰余金合計
当期首残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	8,073	20,460	△3,457	19,324	401	401	19,726
当期変動額												
剰余金の配当						△277	△277		△277			△277
当期純利益						990	990		990			990
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										51	51	51
当期変動額合計	-	-	-	-	-	712	712	△0	712	51	51	764
当期末残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	8,786	21,173	△3,457	20,037	453	453	20,490

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,398	1,426
減価償却費	666	639
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	95	90
前払年金費用の増減額 (△は増加)	5	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
有形固定資産売却益	△0	△1
有形固定資産売却損	-	4
有形固定資産除却損	64	19
有形固定資産撤去費用	10	32
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	-
受取利息及び受取配当金	△77	△72
売上債権の増減額 (△は増加)	△111	122
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2	△81
仕入債務の増減額 (△は減少)	102	△23
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△252	237
長期前払費用の増減額 (△は増加)	6	△43
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	0	2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△30	22
小計	1,886	2,396
利息及び配当金の受取額	77	72
法人税等の支払額	△556	△443
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,406	2,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△384	△384
定期預金の払戻による収入	384	384
有形固定資産の取得による支出	△1,290	△196
有形固定資産の売却による収入	0	1
有形固定資産の除却による支出	△10	△32
無形固定資産の取得による支出	△1	△11
その他の支出	△2	△1
その他の収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,302	△239
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	-	△0
配当金の支払額	△277	△276
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277	△277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△173	1,508
現金及び現金同等物の期首残高	7,060	6,887
現金及び現金同等物の期末残高	6,887	8,395

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や経済・社会活動の回復度に関しては不確実性が高い事象であると考え、その影響が少なくとも当事業年度以降も一定期間続くとの仮定を基に繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。この場合においては、翌事業年度の財務諸表に与える影響は軽微であると考えております。

なお、一旦感染が収束したとしても、新たに感染が広がることで、世界経済の低迷が長期化し、日本経済の低迷を招く事態となりましたら、翌事業年度の財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の部門を置き、各部門は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「液体」「粉体」「チルド食品」及び「即席麺」の4つを報告セグメントとしております。

「液体」は、うなぎのたれ及び液体スープ等を生産しております。「粉体」は、粉末スープ、顆粒製品及び機能性食品等を生産しております。「チルド食品」は、焼そば及び生ラーメン等を生産しております。「即席麺」は、袋麺及びカップ麺等を生産しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,861	4,234	2,585	8,638	19,319	965	20,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,861	4,234	2,585	8,638	19,319	965	20,285
セグメント利益又は損失(△)	291	△7	330	393	1,008	7	1,015
セグメント資産	2,318	4,179	2,447	4,744	13,688	181	13,870
その他の項目							
減価償却費	114	244	54	253	666	—	666
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	100	794	29	61	985	—	985

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 売上高及びセグメント利益は、損益計算書の売上高及び営業利益と一致しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,162	4,418	2,942	8,696	20,220	1,018	21,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,162	4,418	2,942	8,696	20,220	1,018	21,238
セグメント利益	328	80	454	513	1,377	16	1,393
セグメント資産	2,280	4,019	2,445	4,506	13,252	155	13,407
その他の項目							
減価償却費	111	256	50	220	639	—	639
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	92	56	28	30	207	—	207

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 売上高及びセグメント利益は、損益計算書の売上高及び営業利益と一致しております。

#### 4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	13,688	13,252
「その他」の区分の資産	181	155
全社資産(注)	8,979	10,445
財務諸表の資産合計	22,849	23,853

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券であります。

(単位: 百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	666	639	—	—	—	—	666	639
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	985	207	—	—	—	—	985	207

## 【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東洋水産株式会社	16,447	液体、粉体、チルド食品、即席麺及びその他

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東洋水産株式会社	17,214	液体、粉体、チルド食品、即席麺及びその他

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

前事業年度及び当事業年度においては、関連会社の重要性が乏しいため記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2020年3月31日)	当事業年度末 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	2,839円01銭	2,949円07銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(百万円)	19,726	20,490
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	19,726	20,490
普通株式の発行済株式数(株)	8,832,311	8,832,311
普通株式の自己株式数(株)	1,883,966	1,884,087
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	6,948,345	6,948,224

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	140円55銭	142円58銭
(算定上の基礎)		
当期純利益(百万円)	976	990
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	976	990
期中平均株式数(株)	6,948,402	6,948,328

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2021年3月期決算参考資料

2021年5月14日

## ユタカフーズ株式会社

(コード番号2806東・名市場第2部)

## 1. 当期の業績

売上高	212億38百万円	(前期比 4.7%増)
営業利益	13億93百万円	(前期比 37.3%増)
経常利益	14億81百万円	(前期比 32.3%増)
当期純利益	9億90百万円	(前期比 1.4%増)

1株当たり当期純利益は142円58銭となりました。

## 2. 配当状況

当期の期末配当金は、1株につき20円00銭とし、年間配当金は中間配当金20円00銭を加えた40円00銭とさせていただきます。

配当性向は28.1%であります。

## 3. 財政状態

総資産	238億53百万円
純資産	204億90百万円
自己資本比率	85.90%

1株当たり純資産 2,949円07銭であります。

## 4. 当期の業績の概要

## (1) 設備投資

当期の設備投資額は、1億96百万円で主なものは次のとおりであります。

本社工場	液体製造設備	82百万円
	チルド食品製造設備	22百万円
鳥取工場	粉体製造設備	46百万円

## (2) 売上高 (セグメント別売上実績)

(単位: 百万円)

部 門 名	前期(2019年4月～2020年3月)		当期(2020年4月～2021年3月)		前期比 増減
液体	3,861	19.0%	4,162	19.6%	7.8%
粉体	4,234	20.9	4,418	20.8	4.4
チルド食品	2,585	12.7	2,942	13.9	13.8
即席麺	8,638	42.6	8,696	40.9	0.7
その他	965	4.8	1,018	4.8	5.5
合 計	20,285	100.0	21,238	100.0	4.7

## (3) 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、前期に比べ 21 百万円減少しました。

## (4) 減価償却費

2021年3月期(実績)	本社工場	4億23百万円
	鳥取工場	2億16百万円
2022年3月期(予想)	本社工場	4億20百万円
	鳥取工場	2億00百万円

## 5. 次期の業績の概要

## (1) 次期の業績予想

第2四半期	売上高	75億00百万円	(前期比 2.9%減)
	営業利益	6億50百万円	(前期比 7.8%減)
	経常利益	7億00百万円	(前期比 8.6%減)
	当期純利益	4億90百万円	(前期比 2.4%減)
通 期	売上高	150億00百万円	(前期比 2.3%減)
	営業利益	13億00百万円	(前期比 6.7%減)
	経常利益	14億00百万円	(前期比 5.5%減)
	当期純利益	9億80百万円	(前期比 1.1%減)

と見込んでおります。

なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

## (2) 設備投資

次期の設備投資額は、 本社工場 3億40百万円  
鳥取工場 90百万円 を予定しております。

## (3) 売上高 (セグメント別売上予想)

(単位：百万円)

部 門 名	上半期	下半期	通 期
液体	1,840	1,600	3,440
粉体	2,010	2,060	4,070
チルド食品	1,030	710	1,740
即席麺	2,120	2,630	4,750
その他	500	500	1,000
合 計	7,500	7,500	15,000

## 6. 過去10年間の業績の推移

(単位：百万円)

期 別	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年3月期	21,238	1,393	1,481	990
2020年3月期	20,285	1,015	1,119	976
2019年3月期	21,269	1,161	1,277	1,025
2018年3月期	22,191	985	1,089	640
2017年3月期	20,440	1,007	1,123	716
2016年3月期	21,050	1,327	1,420	942
2015年3月期	21,145	1,096	1,169	834
2014年3月期	22,449	1,359	1,469	906
2013年3月期	21,475	1,215	1,310	811
2012年3月期	22,771	1,489	1,577	874